

# DNP

株主通信

## DNP Report Vol.89

(証券コード：7912)

特集：地球と人にやさしいDNPの機能性フィルム



太陽光を効果的に反射・拡散させる「DNP採光フィルム」の施工例



代表取締役社長

北島 義俊

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

### ❖ 「4つの成長領域」での事業拡大に向けて

昨年、2016年にDNPは創業140周年を迎えました。この先も中長期的に私たちが企業価値を高め、社会に貢献し続けていくためには、自らが進んで変革に取り組んでいく必要があります。それを実現していくため「P&I\* イノベーションにより、4つの成長領域を軸に事業を拓げていく」という事業ビジョンを策定しました。

\* Printing (印刷)とInformation (情報)

「4つの成長領域」とは「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」です。DNPの強みを活かしていくことでこれらの領域における社会課題を解決し、DNPの事業も拡大していけると考えています。

例えば「環境とエネルギー」の領域では、経済成長と環境保全との両立を目指し、新たな製品・サービスの開発を進めています。その一例として、金属に微細なパターンを形成するフォトリソグラフィ技術や、インキ等の部材を均一に塗布するコーティング技術などの印刷技術を応用・発展さ

せることにより、「光」「熱」「液体」「気体」などを制御する多様な「機能性フィルム」を開発してきました。

特に「光」を制御する「DNP採光フィルム」は、これまで培ってきた光学設計や微細加工の技術を活かし、窓から入る太陽光を天井などに効果的に反射・拡散させて、部屋全体を明るくする製品です。使う材料の光学特性や構造を最適化することで、年間を通じて効率良く太陽光を採り込むようにしており、自然光の有効利用によって、消費電力の削減と快適な空間を実現します。この「DNP採光フィルム」の環境に対する効果などが評価されて、2017年2月、第26回地球環境大賞「日本経済団体連合会会長賞」を受賞しました。

## 東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会のオフィシャルパートナー

DNPはまた、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を大きなビジネスチャンスであると捉えており、昨年10月、私たちは印刷サービスカテゴリーにおけるオフィシャルパートナーとなりました。

DNPは、1964年に開催された東京オリンピック競技大会で、大会チケット、記念シール、ポス

ターの印刷を担当し、また1998年の長野冬季オリンピックでは、アクレディテーションカード(身分証明証)の発行を担うなど、さまざまな製品やサービスを提供し大会運営を支援してきました。

こうした実績を踏まえ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、高度な偽造防止技術を活用した印刷サービスで、大会チケット、アクレディテーションカード、大会の盛り上げに必要な各種告知物の制作および運営・サービス等により、大会の円滑な運営と成功に向けて、さまざまな支援を行っていきたいと考えています。また、大会開催に向けた社会基盤の整備や、多様な分野での情報発信においても、印刷サービスカテゴリーのオフィシャルパートナーとして、他のパートナー企業と連携して取り組んでいきます。

DNPは、これからも生活者や企業、そして社会の課題解決につながる新しい価値を提供していくことで、企業価値を高めていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 機能性フィルムがもたらす新しい価値が、多くの領域で環境負荷低減に貢献

印刷技術の応用・発展によるDNPの多様な機能性フィルムは、光や熱、液体や気体などの制御によって、環境負荷の低減にも貢献していく新しい素材として、幅広い分野で活用されています。例えば、ディスプレイへの光の映り込みを抑える光学フィルムに加え、室内をより明るくしたり、植物の光合成を促進するために光の反射・拡散の機能を高めたフィルムなど、光をさまざまにコントロールする製品を展開しています。

また、リチウムイオン電池の外装材として電解質などの材料を密封するバッテリーパックを、従来の金属缶から、水蒸気に強い多層フィルムによるDNPのラミネートパウチに替えることで、電池の小型化・軽量化を実現します。自動車などのバッテリーを軽量化することは、燃費の向上によって消費エネルギーを減らし、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。そのほか、水蒸気や酸素などの透過を抑えて内容物を守るバリアフィルムは、アルミ箔を使わずに食品の保存性を高めるほか、医療用の薬液を保存するキャリアバッグなど、さまざまな用途で使われています。



### 機能性フィルム開発の歴史

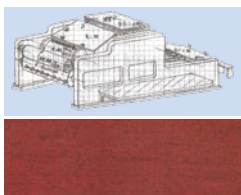
1951

#### 包装分野



セロハン包装紙への印刷を開始

#### 生活空間分野



メラミン樹脂板用化粧紙の開発に着手(上：製造設備の図、下：継ぎ目のないエンドレスな木目柄・1953年製造)

1983

#### 産業資材分野



フィルム表面のパターン形成と光の特性の利用によりプロジェクションスクリーン生産開始

1984

#### 産業資材分野



フィルムに機能性素材を均一にコーティングし、昇華型熱転写プリンター用インクリボンの生産を開始

## 機能性フィルムが描く省エネルギーのかたち

DNPは印刷のコア技術を活かした製品開発を通じて、省エネルギーや省資源を実現し、それによって温室効果ガス削減をはじめとした環境課題解決に貢献していきます。

### ●「DNP超耐候ハードコート転写フィルム」が実現する曲面樹脂ガラス

ポリカーボネートなどのプラスチック製の樹脂ガラスは、耐衝撃性や断熱性に優れるほか、一般のガラスと比べて約半分の重さのため、自動車などの軽量化にも有効だと期待されています。2016年2月に発売した「DNP超耐候ハードコート転写フィルム」は、樹脂ガラスの表面に転写することで、太陽光や風雨などに対する耐候性と、傷などへの耐摩耗性を高めることができる機能性フィルムです。2017年1月には、この転写フィルムを曲面形状に対応しやすく改良し、自動車のサンルーフなどに使用可能な曲面樹脂ガラスを開発しました。



曲面樹脂ガラス

1998

#### 生活空間分野



電子線 (Electron Beam) を照射してフィルムを高機能化するEBコーティング住宅内外装材の生産を開始

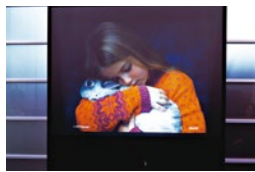
#### 包装分野



透明蒸着バリアフィルム (IBフィルム) を開発し、食品や医療品用に生産を開始

2004

#### 産業資材分野



プロジェクタの光の反射とその他の光の吸収によって、映像を鮮やかに表示する前面投影型プロジェクタ用スクリーンの生産を開始

2011

#### 包装分野



植物由来の原料を使用して環境負荷を低減する「バイオマテックPET」の生産を開始

より広い領域へ (P6~7)

## ● 電源のいらぬ「DNP多機能断熱ボックス」 で日本のおいしさを世界に届ける

生鮮品やエレクトロニクス製品等の温度管理を必要とするサプライチェーンは、品質保持のために輸送時間の短縮や冷蔵用の電源確保という課題を抱えています。DNPはこの課題の解決に向けて、機能性フィルムを活かした取り組みを進めています。そのなかで、断熱素材をバリア性の高いフィルムで密閉した真空断熱パネルを利用して、高い保冷性と積載効率を両立した製品が「DNP多機能断熱ボックス」です。

このボックスは保冷するための電源を必要としないので、電源設備のない常温の輸送車でも冷蔵が必要な製品を運ぶことができます。日本国内だけでなく、保冷したまま輸送することが難しい東南アジア諸国などに生鮮品を輸出する際にも大きな役割を果たします。また、高い断熱性により冷蔵品と常温品の混載が可能となるため、輸送効率の向上にもつながるほか、倉庫などに保管する際に簡易冷蔵庫として使用するなど、用途が広がっています。

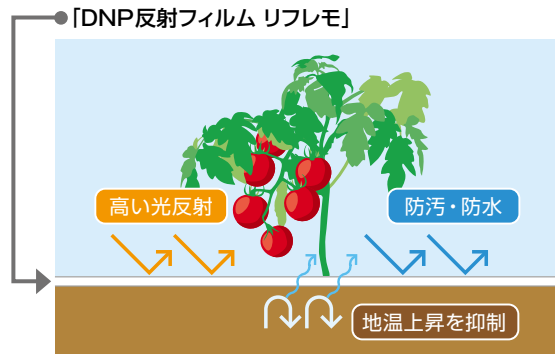


DNP多機能断熱ボックス

## ● 作物の育成を助ける 「DNP反射フィルム リフレモ」シリーズ

DNPは「食とヘルスケア」を成長領域のひとつに掲げ、安全で質の高い生活を支え、生涯にわたる健康維持をサポートする製品やサービスの開発に取り組んでいます。そのなかで、光の反射性を高めることで光合成を促し、作物の育成を助ける「DNP反射フィルム リフレモ」シリーズを開発、提供しています。

DNPのフィルム成膜技術とラミネート技術を応用したこの製品は、光の反射性能や防水性、防汚性に優れ、炎天下でも地温の上昇を抑制する機能を有しています。地球温暖化や水質汚染・土壌汚染などによって、従来の土耕栽培の代替として注目される水耕栽培では、光や水の効率的な管理が大切となるため、この分野でも「リフレモ」への注目が高まっています。また、「リフレモ」の光の反射効果は水耕栽培だけでなく、室内の人工光型植物工場にも適しており、DNPは多様なニーズに応えていきます。



## ○ 2015 ~

### 自然光を有効利用する「DNP採光フィルム」が消費電力削減と快適な空間を実現

DNP が展開している多様な機能性フィルムの中で、特に「光」を制御する「DNP採光フィルム」は、窓から入る太陽光を天井などに効果的に反射・拡散させて、部屋全体を明るくします。この「DNP採光フィルム」は、2枚のガラスに挟んで使用する「合わせガラス用」と、窓ガラスに貼り付ける「現場施工用」の2種類があり、住宅やオフィス、商業施設や学校、医療施設などで、新築だけでなくリフォーム時などのさまざまな場面に使用できます。日当たりの悪い北側の窓に、この採光フィルムを使用した合わせガラスを設置して検証したところ、使用前と比べて室内の明るさが2倍に向上し\*1、照明エネルギー（電気代）を13%削減できました\*2。

\*1 DNP調べ:2015年6月5日午前9時~午後6時に測定した最大値

\*2 DNP調べ:2015年7月2日午前9時~午後6時に測定

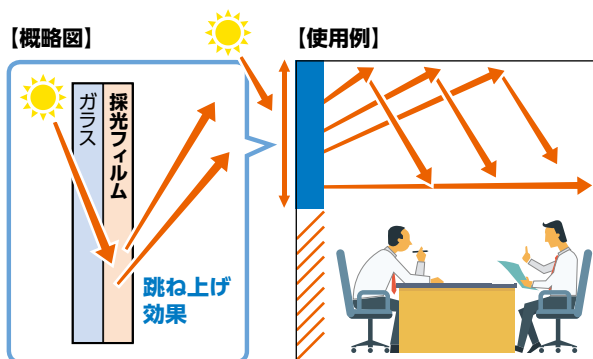


「DNP採光フィルム」の使用前(上)と使用後(下)の室内の明るさの比較

## ○ 2017

### 「DNP採光フィルム」が地球環境大賞「日本経済団体連合会会長賞」を受賞

2017年2月、「DNP採光フィルム」による消費電力の削減や快適な空間の実現が高く評価され、第26回地球環境大賞「日本経済団体連合会会長賞」を受賞しました。今後も機能性フィルムをはじめとした事業を通じて「新しい価値」を提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



「DNP採光フィルム(現場施工用)」の構造

# 第3四半期決算のご報告 (平成28年4月1日から平成28年12月31日)

## 連結業績の概況

(単位:億円)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,500	10,901
営業利益	223	320
経常利益	270	394
親会社株主に帰属する 四半期純利益	251	270

## 連結業績の予想 (平成29年3月期通期)

(単位:億円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
14,200	320	360	280

1株当たり当期純利益45円27銭

DNPは「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」という4つの成長領域において、印刷(Printing)と情報(Information)の強みを組み合わせた「P&Iイノベーション」による新しい価値の創造に注力し、事業拡大に努めました。また、事業部門やグループ会社の再編・統合、拠点の整備などを進め、競争力強化に向けた構造改革に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は1兆500億円(前年同期比3.7%減)、連結営業利益は223億円(前年同期比30.2%減)、連結経常利益は270億円(前年同期比31.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は251億円(前年同期比7.0%減)となりました。

## 部門別の状況

### 印刷事業



ハイブリッド型総合書店「honto」



ペットボトル用無菌充填システム



フォトマスク

### 清涼飲料事業



清涼飲料

### 情報コミュニケーション部門

売上高	5,944億円
前年同期比	2.4%減
営業利益	137億円
前年同期比	28.5%減

販促関連ツールやICカードなどが堅調に推移しましたが、出版関連が伸び悩み、売上は前年を下回りました。

### 生活・産業部門

売上高	2,901億円
前年同期比	1.6%増
営業利益	110億円
前年同期比	27.8%増

産業資材関連は伸び悩みましたが、包装関連、生活空間関連が堅調に推移し、売上は前年を上回りました。

### エレクトロニクス部門

売上高	1,259億円
前年同期比	19.0%減
営業利益	108億円
前年同期比	35.1%減

液晶カラーフィルター、光学フィルム、半導体製品用フォトマスクの売上がいずれも前年を下回りました。

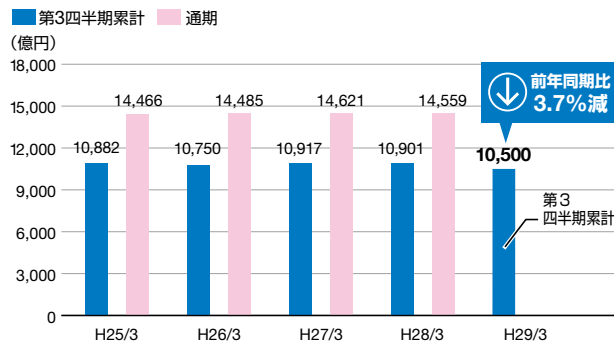
### 清涼飲料部門

売上高	433億円
前年同期比	2.0%減
営業利益	23億円
前年同期比	141.8%増

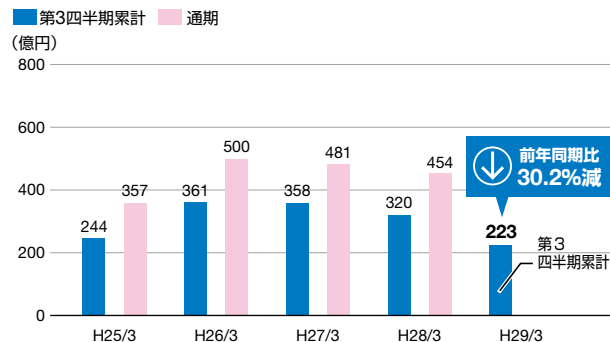
主カブランド「綾鷹」などの無糖茶飲料は増加しましたが「コカ・コーラ」が減少し、売上が前年を下回りました。



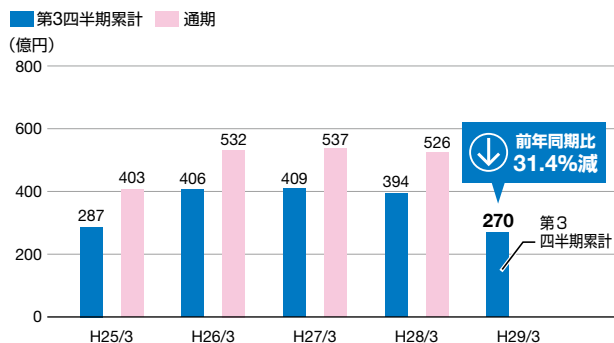
## 連結売上高



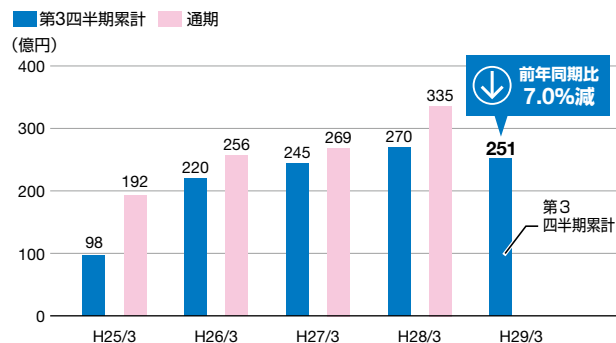
## 連結営業利益



## 連結経常利益



## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



## 連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	16,772	17,186
流動資産	6,959	7,217
固定資産	9,812	9,969
負債	6,243	6,553
流動負債	3,887	4,233
固定負債	2,355	2,320
純資産	10,529	10,632

## 配当予想(1株当たり配当金)

	中間	期末	年間
平成29年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (予想)	32円00銭 (予想)
平成28年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (実績)	32円00銭 (実績)



超高齢社会において、DNPは生活者の健康維持をサポートする製品やサービスの開発に取り組んでいます。DNPは、印刷技術や情報技術と、バイオテクノロジーなどの技術を組み合わせ、5つの分野でライフサイエンス事業の拡大を図っています。

DNPのライフサイエンス事業への取り組みは早く、1985年には尿検査紙や妊娠検査キットなどを製品化しています。2000年代には、細胞を培養する基材の開

発など、再生医療分野の研究開発を開始したほか、カラーマネジメントや3次元画像処理などの先端的な情報技術を活かし、細胞の培養評価や遠隔地での画像診断支援などの事業化に取り組んでいます。

また、「予防医療」の分野では、生活者が自らの健康状態を把握することで、病気の早期発見に役立つような製品・サービスを開発するなど、生活者の健康維持をサポートしています。

### ● DNPが取り組むライフサイエンスの5つの事業分野

医療用部材

医療用画像処理

医療原薬

予防医療

再生医療

### ❏ 生活習慣病を予防する「DNP健康管理支援サービス」

近年、日本全国の地方自治体において、地域住民の健康診断の受診率が向上しないことが課題となっています。この課題解決の一例としてDNPは、北九州市で地域密着型ドラッグストアを展開している株式会社サンキュドラッグの店頭で実施する「DNP健康管理支

援サービス」を提供しています。これは経済産業省に採択された健康寿命延伸産業創出推進事業の一環として進めているものです。

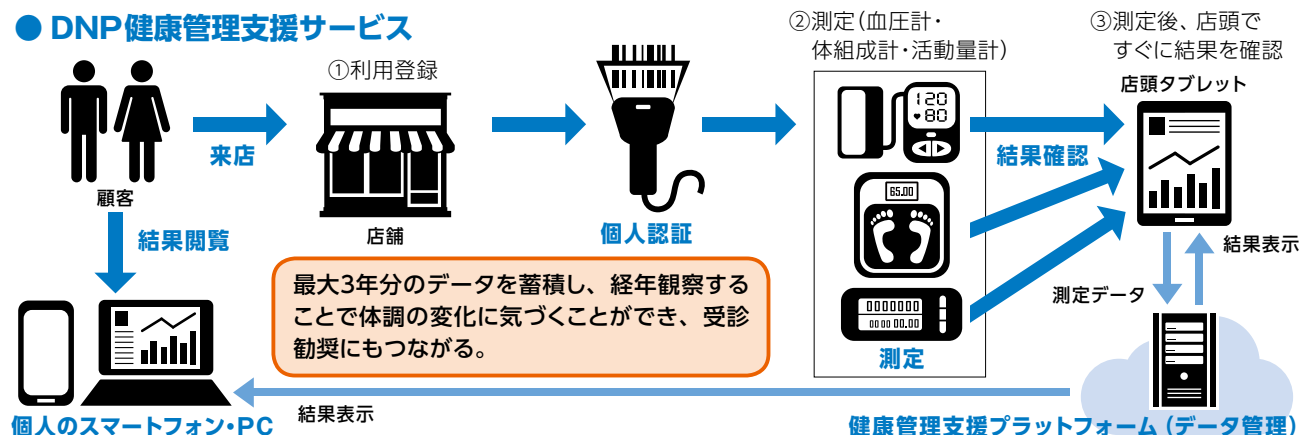
生活者は、ドラッグストアの店頭で手軽に健康測定して、その結果をその場で確認できるほか、測定結果

について専門家に相談して、アドバイスを聞くこともできます。測定データは、高度な情報セキュリティ機能を備えたDNPのデータセンターで安全に保管されるため、生活者は安心してサービスを利用できます。また、測定するたびにポイントが貯まり、プレゼントにも応募できる仕組みを用意するなど、生活者の健康測定の継続と健康意識の向上にもつなげていきます。

店舗としては当サービスの導入によって、生活者の来店頻度の向上が見込めます。

DNPはこのサービスを発展させて、病院・クリニック、自治体や介護施設、ドラッグストアなどを連携させるネットワークを構築し、地域医療の活発化を推進していきます。

### ● DNP健康管理支援サービス



### ● 「DNPモニタリングシステム Your Manager」で日々の健康状態を記録

DNPは、在宅での患者の症状の変化や生活習慣などを定量的に把握する「DNPモニタリングシステム Your Manager」を開発しました。このシステムは、患者自身が日々の体調や気分、食事や睡眠の状況などに関するチェックカードのボタンを押したり、薬をケースから取り出したりすることによって、カードやケースに組み込まれた回路が接触・切断されます。この時の信号を電子モジュールが記録し、医師や看護師等がNFC\*カードリーダーでモジュールに記録された情報を読み取って、パソコンやスマートフォンで確認することができます。通院時や入院時だけでなく、患者の日々の生活習慣などを定量的に把握できるため、健康状態の変化や病気の早期発見、適切な治療につなげていくことが可能となります。



毎日生活チェックカード

\*NFC(Near Field Communication):国際的な近距離無線通信規格。リーダーにICカード等をかざすだけで、簡単にデータ通信が可能となる。

❏ [2016年10月31日発表]

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナーに決定

DNPは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020スポンサーシッププログラム」における「東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)」の契約を締結しました。

DNPは、2016年10月に創業140年を迎え、生活者の身近で自然と使われるような“未来のあたりまえ”となる新しい価値の創出に取り組んでいます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、高度な偽造防止技術を活用した印刷サービスで、大会チケット、アクセディテーションカード(身分証明書)、大会を盛り上げる上で必要な各種告知物の制作など、本大会の円滑な運営と成功に向けて、さまざまな支援を行っていきたくと考えています。また、本大会の開

催に向けた社会基盤の整備や多様な分野での情報発信においても印刷サービスカテゴリーのオフィシャルパートナーとして、他のパートナー企業と連携して取り組んでいきます。



**DNP**  
大日本印刷



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

❏ [2016年11月4日発表]

## 大日本商事が図書館向けセキュリティシステム事業を開始

DNPは、図書館向けにICタグを活用した蔵書管理システムや電子書籍の貸出サービス等を提供するほか、グループの丸善雄松堂と図書館流通センター(TRC)が図書館の受託運営や書籍販売を行うなど、図書館関連事業に力を入れています。

その一環として2016年11月に、グループで商社機能を担う大日本商事が、これまで丸善雄松堂とTRCがスリーエム ジャパン株式会社から調達して、多くの図書館に納入してきた“図書館向けセキュリティシステム事業”を開始しました。同システムは、特殊な信号を発する米国3M社製の磁気テープを本に貼ることによって、蔵書の不正持出しを防止するものです。大日本商事は、国内で同システムを利用する、1,600以上の図書館全てに対して、メンテナンスや消耗品の供給を安定的に行っていきます。大日本商事が同事業の技術支援やメンテナンスの体制を整えるとともに、DNPグループとして総合力を活かした図書館関連事業の強化につなげていきます。



国内1,600館以上で利用されているセキュリティシステム

## ❖【2017年2月7日発表】幕末の「日本・デンマーク修好通商航海条約」の精密な複製を製作

DNPは、高精細デジタル印刷技術と“匠の技”によって、150年前に締結された「日本・デンマーク修好通商航海条約」の精密な複製(レプリカ)を製作しました。この条約の日本側原本は関東大震災で焼失しており、デンマーク側原本のレプリカがデンマークから日本へ寄贈されました。その製作をDNPが担当しましたが、今回、原本と同等の和紙等を調達し、精巧な印刷と特殊な製本による再現技術を駆使しました。DNPが販売代理店を務める、1億画素を超えるデンマーク製の高精細カメラ「Phase One」によって高精細撮影を行い、高品質な画像処理、印刷、手作業による和綴・上製本などを施して、レプリカを製作しました。

DNPは1989年に、プロジェクションスクリーンの製造拠点をデンマークに設立して以来、両国をつない

だ事業展開を進めてきました。また、文化・教育面などの取り組みも評価され、2001年に北島義俊代表取締役社長が、デンマーク王国からダネブロー騎士の称号を授与されています。これからもDNPは、両国の交流に努めていきます。



「日本・デンマーク修好通商航海条約」の精密な複製(レプリカ)

## ❖【2017年1月24日発表】LEDを搭載した薄型屋外サイネージを発売

DNPは、液晶ディスプレイに加え、文字情報が表示できるLEDを搭載した屋外用デジタルサイネージ(電子看板)「DNP LED搭載薄型屋外サイネージ」を開発し、2017年2月に販売を開始しました。

従来の屋外用サイネージは、液晶表示だけでは遠くから見た際の訴求力が弱いという課題がありました。また設置場所の制約が少なくなるよう、機器をよりスリムにしてほしいという要望もありました。これらの課題に対して、今回開発した製品は、液晶ディスプレイにLED表示部とスピーカーを搭載したことで、映像や音声での表現と、緊急情報などの文字情報の発信を1台で実現します。また筐体の厚みを13cmとし、従来製品より約35%(当社比)のスリム化を実現しました。

DNPは当製品を、人々が多く集まる公共施設や観光地、駅やイベント会場等の屋外で、訪日外国人などに向けて多言語で情報提供するインバウンドツールとして展開するほか、非常時の情報発信インフラとしても活用していきます。



DNP LED搭載薄型屋外サイネージ

## 株式会社DNPデータテクノ

### 万全のセキュリティ体制で社会の安全・安心を守る

DNPデータテクノは、社会の安全・安心に不可欠な“情報セキュリティ”関連の製品・サービスを幅広く手がけています。請求書や取引明細などのパーソナルな情報を適切に処理して出力・発送する情報加工サービスのほか、各種帳票や金券、各種カードなどを製造・販売しています。

特に主力製品であるICカードは、クレジットカードやキャッシュカードをはじめ、電子マネーやポイントカード、鉄道やETC用の交通系カード、スマートフォン等で使われるSIMカード、社員証や学生証等のID認証などの多様な用途で、製造からデータ処理、発行までトータルに取り扱っています。DNPは1980年代の初めからICカードの開発に取り組んできました。21世紀のさらなる普及に向けて1999年に牛久工場が操業を開始して以来、DNPデータテクノはICカードの製造を担ってきました。

ICカードなどでは膨大な個人情報を取り扱うため、DNPデータテクノの各工場は、入退室管理等の物理面、

ネットワーク管理等のソフト面ともに、世界的にもトップレベルのセキュリティ体制を敷いています\*。また、こうして培ったセキュリティに関するノウハウや実績が、取引先企業の業務プロセス全体を請け負うBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業の拡大にもつながっています。DNPデータテクノは、各企業に代わって生活者とのコンタクトセンターを運営するなど、業務代行サービス事業にも力を入れており、時代の要請に応じて進化を続けています。

\*VISA、MasterCard等のセキュリティ認定のほか、ISMS（Information Security Management System）認証、プライバシーマーク認定、ISO9001（品質）、ISO14001（環境）、BCMS（事業継続マネジメントシステム）の認証・認定を取得。蕨工場は株式会社アイ・エス・レーティングより、情報セキュリティ体制について最高レベルの「AAIis」の評価を取得。



指紋照合システムで入退室を管理



DNPデータテクノ 牛久工場

#### 会社概要

名称：株式会社DNPデータテクノ

所在地：埼玉県蕨市錦町4-5-1

設立：1998年7月

拠点：埼玉県、茨城県、奈良県、京都府等、国内18拠点

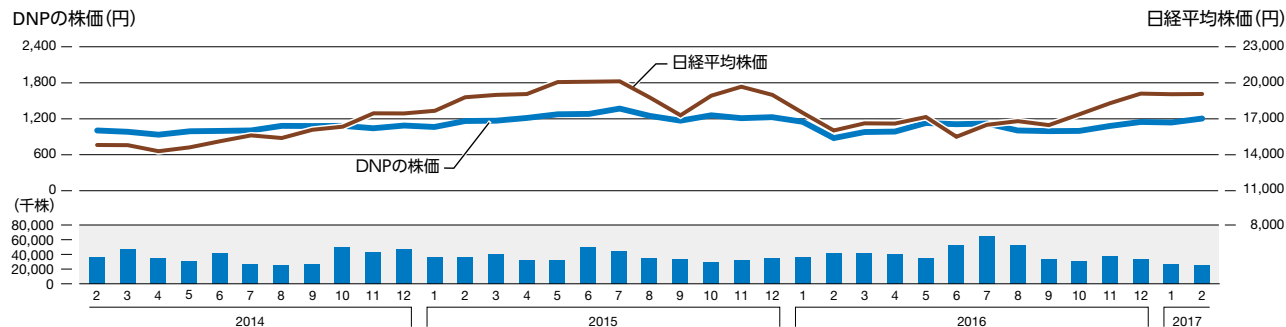
## 会社概要

商号：大日本印刷株式会社  
 英文社名：Dai Nippon Printing Co., Ltd.  
 本社所在地：東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
 電話：03 (3266) 2111 総合案内  
 ウェブサイト：http://www.dnp.co.jp/  
 創業：明治9年(1876年)10月9日  
 設立年月日：明治27年(1894年)1月19日  
 資本金：1,144億6,476万円



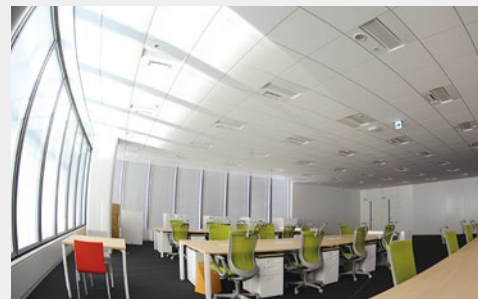
東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

## 株価 / 出来高の推移



## CONTENTS

株主の皆様へ	2
特集：地球と人にやさしいDNPの機能性フィルム	4
第3四半期決算のご報告	8
“フォーカスDNP”シリーズ 【第26回：予防医療の取り組み】	10
ピックアップニュース	12
DNPグループ紹介 ⑪	14
会社情報	15



表紙：太陽光を効果的に反射・拡散させる「DNP採光フィルム」の施工例

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="http://www.dnp.co.jp/ir/">http://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ証券 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### ※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

**大日本印刷株式会社** 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
TEL : 03-3266-2111 (総合案内)



この報告書を印刷する際の電力(1,100kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。